

知って備える 防災メモ

第90回



新しい生活様式に対応した避難を

九州をはじめとした全国各地で甚大な被害をもたらした7月の豪雨。北海道においては、夏から秋にかけて、大雨が発生することが多く、日頃から災害に備える必要があります。特に新型コロナウイルスの感染拡大が確認されている昨今においては、3密（密閉・密集・密接）が生じやすい避難所での感染症対策の徹底が求められます。

いっしょに・みんな

- 市は、アルコール消毒液やパーティションなどの備蓄、避難者同士の距離の確保や避難者の体調確認などを定めたマニュアルの作成など、避難所における感染症対策を進めていますが、避難所での感染拡大を防止
- 避難所で心掛けていただくこと**
- マスクの着用や手洗いなど、基本的な感染症対策の徹底
- 入所時や毎日の体調確認
- 避難スペースでの土足の禁止（スリッパなどを持参）
- 定期的な消毒・清掃、換気 など

するためには、避難者全員の協力が不可欠です。マスクや体温計、消毒液などは数に限りがあることから、自宅に準備している非常持出品に感染症予防グッズを加えていただき、避難時には可能な限り持参するようお願いいたします。

また、各自が体調チェックに努め、発熱や体調不良などの自覚症状がある場合は、すぐに申し出ていただき、避難所内の専用スペースに移動するなどのご協力をお願いします。

安全を確保できる場所へ

危険が迫っているときは躊躇することなく避難することが基本ですが、安全が確保された場所は指定避難所だけではありません。自宅をはじめ、親せきや友人の家などで安全が確保できる場合は、多くの避難者が集まる避難所よりも感染リスクが低くなりますので、避難先を検討することも感染症対策の一つとなります。

▼問い合わせ

総務グループ (☎0193)

とうほんせいそう 東奔西走

▲少しずつ賑わいを取り戻しつつある観光地



コロナ疲れを温泉で癒そう

登別市民限定 湯ったりキャンペーン

6/19 ~ 7/20

6月19日(金)から7月20日(月)、登別市民を対象とした『湯ったりキャンペーン』（登別国際観光コンベンション協会主催）が実施されました。

長期間に渡った外出自粛による精神的な疲れを癒やすとともに、観光関連産業の振興を後押しするため、感染症対策に取り組み市内の温泉宿泊施設に宿泊する市民先着5千人に、宿泊施設や土産店などで使用できる計8千円のクーポン券を配布した同キャンペーン。温泉につきり、登別が誇る魅力を再認識できたのではないのでしょうか。

外で楽しむ家族の時間

登別市エール飲食券

7月1日(水)、子育て世帯を対象に配布した『登別市エール飲食券』（市主催）が使用開始となり、市内では、自宅で味わえないお店の雰囲気と味を楽しむ家族の笑顔がいくつも見られました。

経済活動にも非常に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス。

市は、市内での飲食を楽しんでもらおうと、18歳以下の市民一人当たり3千円分の『エール飲食券』を配布。約70店舗の飲食店で使用できます。

同飲食券の使用期限は9月30日(水)まで。お持ちの方は、忘れずにご利用ください。

7/1



▶飲食券が使用できる店舗に掲示されているポスター